

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年6月6日(2025.6.6)

【公開番号】特開2024-167182(P2024-167182A)

【公開日】令和6年12月3日(2024.12.3)

【年通号数】公開公報(特許)2024-226

【出願番号】特願2024-114813(P2024-114813)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/145(2006.01)

10

A 6 1 P 43/00(2006.01)

A 6 1 P 31/04(2006.01)

A 6 1 P 29/00(2006.01)

A 6 1 P 25/00(2006.01)

A 6 1 P 19/02(2006.01)

A 6 1 P 9/10(2006.01)

A 6 1 P 9/00(2006.01)

A 6 1 P 3/06(2006.01)

A 6 1 P 3/00(2006.01)

A 6 1 P 1/04(2006.01)

20

A 6 1 P 19/06(2006.01)

A 6 1 K 45/00(2006.01)

A 6 1 K 39/395(2006.01)

A 6 1 K 31/496(2006.01)

A 6 1 K 31/5377(2006.01)

A 6 1 K 31/444(2006.01)

A 6 1 K 31/4545(2006.01)

A 6 1 K 31/4025(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/145

30

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 1/04

40

A 6 1 P 19/06

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/444

A 6 1 K 31/4545

A 6 1 K 31/4025

50

【手続補正書】

【提出日】令和7年5月28日(2025.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

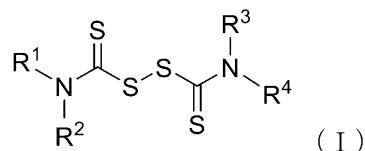
【特許請求の範囲】

【請求項1】

有効量の式(I)の化合物、

10

【化1】



またはその薬学的に許容される塩を含む組成物であって、式中、

R¹、R²、R³、およびR⁴が、それぞれ独立して、H、C₁~6アルキル、C₁~6ハロアルキル、およびCy¹から選択され、前記C₁~6アルキルが、Cy¹、ハロ、C

20

N、およびNO₂から独立して選択される1、2、または3個の置換基で任意に置換されており、
あるいは、R¹およびR²が、それらが結合するN原子と共に、4~12員ヘテロシクロアルキルを形成し、これは、R^{Cy2}から独立して選択される1、2、3、4、または5個の置換基で任意に置換されており、

あるいは、R³およびR⁴が、それらが結合するN原子と共に、4~12員ヘテロシクロアルキルを形成し、これは、R^{Cy3}から独立して選択される1、2、3、4、または5個の置換基で任意に置換されており、

各Cy¹が、独立して、C₆~10アリール、および5~10員ヘテロアリールから選択され、これらのそれぞれが、R^{Cy1}から独立して選択される1、2、3、4、または5個の置換基で任意に置換されており、

30

各R^{Cy1}、R^{Cy2}、およびR^{Cy3}が、独立して、C₁~6アルキル、C₁~6ハロアルキル、ハロ、CN、およびNO₂から選択され、

前記組成物は、敗血症、痛風、硬化症、炎症性腸疾患、強直性脊椎炎、全身性エリテマトーデス、乾癬、関節炎、慢性肺疾患、高コレステロール血症、ドライアイ、網膜虚血再灌流、および眼の炎症から選択される炎症性疾患を治療する方法において使用するためのものである、組成物。

【請求項2】

R¹、R²、R³、およびR⁴が、それぞれ独立して、Cy¹およびCy¹で任意に置換されたC₁~6アルキルから選択され、

40

あるいは、R¹およびR²が、それらが結合するN原子と共に、4~12員ヘテロシクロアルキルを形成し、これは、R^{Cy2}から独立して選択される1、2、または3個の置換基で任意に置換されており、

あるいは、R³およびR⁴が、それらが結合するN原子と共に、4~12員ヘテロシクロアルキルを形成し、これは、R^{Cy3}から独立して選択される1、2、または3個の置換基で任意に置換されており、

各Cy¹が、独立して、C₆~10アリール、および5~10員ヘテロアリールから選択され、これらのそれぞれが、R^{Cy1}から独立して選択される1、2、または3個の置換基で任意に置換されており、

各R^{Cy1}、R^{Cy2}、およびR^{Cy3}が、独立して、C₁~6アルキルから選択される

50

請求項 1 に記載の使用のための組成物。

【請求項 3】

R^1 、 R^2 、 R^3 、および R^4 が、それぞれ独立して、 Cy^1 および Cy^1 で任意に置換された C_{1-6} アルキルから選択される、請求項 1 に記載の使用のための組成物。

【請求項 4】

R^1 および R^2 が、それらが結合する N 原子と共に、4 ~ 12 員ヘテロシクロアルキルを形成し、これは、 Cy^2 から独立して選択される 1、2、または 3 個の置換基で任意に置換されている、請求項 1 に記載の使用のための組成物。

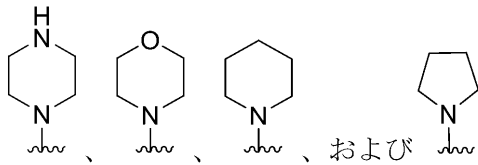
【請求項 5】

R^3 および R^4 が、それらが結合する N 原子と共に、4 ~ 12 員ヘテロシクロアルキルを形成し、これは、 Cy^3 から独立して選択される 1、2、または 3 個の置換基で任意に置換されている、請求項 1 に記載の使用のための組成物。

【請求項 6】

前記 4 ~ 12 員ヘテロシクロアルキルが、以下の基、

【化 2】



のうちのいずれか 1 つから選択される、請求項 4 または請求項 5 に記載の使用のための組成物。

【請求項 7】

前記式 (I) の化合物は、表 A に列挙される化合物、

【表 1】

C-23	
C-23A1	
C-23A2	
C-23A3	

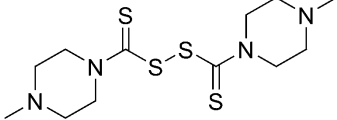
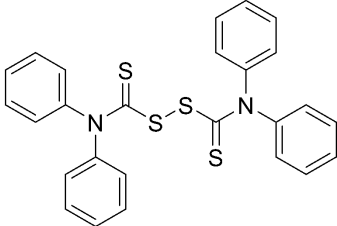
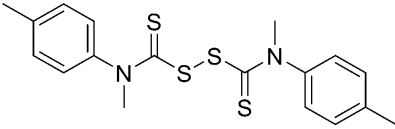
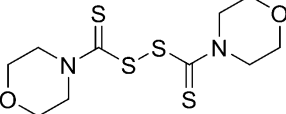
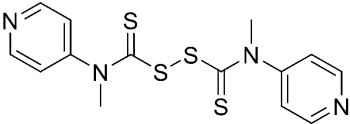
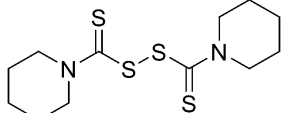
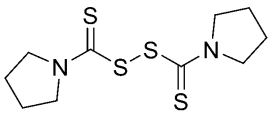
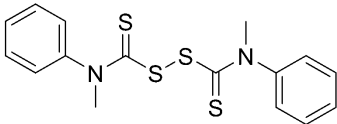
10

20

30

40

50

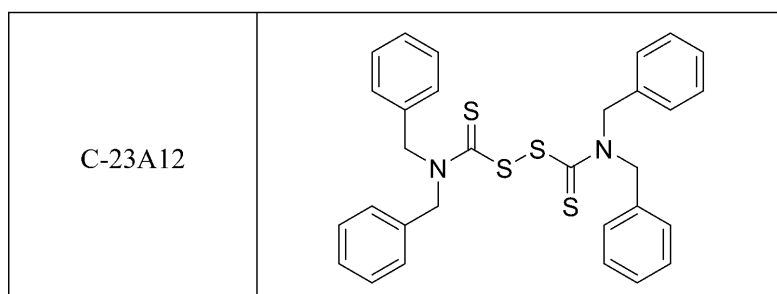
C-23A4	
C-23A5	
C-23A6	
C-23A7	
C-23A8	
C-23A9	
C-23A10	
C-23A11	

10

20

30

40



50

のうちのいずれか 1 つ、またはその薬学的に許容される塩から選択される、請求項 1 に記載の使用のための組成物。

【請求項 8】

前記炎症性疾患が、敗血症、痛風、関節炎、アテローム性動脈硬化症、高コレステロール血症、および炎症性腸疾患から選択される、請求項 1 に記載の使用のための組成物。

【請求項 9】

前記炎症性疾患が、敗血症である、請求項 1 に記載の使用のための組成物。

【請求項 10】

前記炎症性疾患が、急性敗血症である、請求項 9 に記載の使用のための組成物。

【請求項 11】

前記方法が、前記式 (I) の化合物、またはその薬学的に許容される塩を、対象に、少なくとも 1 つの追加の抗炎症剤、またはその薬学的に許容される塩と組み合わせて投与することを含み、場合によって、前記追加の抗炎症剤が、抗 IL 1 抗体、抗 TNF 抗体、NSAID、およびステロイド抗炎症剤から選択される、請求項 1 に記載の使用のための組成物。

10

20

30

40

50